## 建具工事

### ⑯ 4 樹脂製建具

ガラス　※複層ガラス　・単板ガラス　・三重ガラス　(16.3.3)
表面色　標準色（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）　(16.3.4)
水切り　※図示　(16.3.5)
防虫網　(16.2.3)
網の種別　※合成樹脂製　・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS316)製
形　式　・外部可動式　・固定式　・図示
簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.4.2)(表16.4.1)
※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　(16.4.2)(表16.2.1)
・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効間口幅950㎜又は有効高さ2,400㎜を超える場合）
※下表以外は表16.4.2による　(16.4.4)(表16.4.2)

| 区　分 | | 使用箇所 | 厚さ(㎜) |
|---|---|---|---|
| 窓 | 枠類 | 外部の下枠、水切り板 | 2.3 |
| 出入口 | 枠類 | 外部に面するスイングドアの建具 | 2.3 |
| | 戸 | 中骨 | 2.3 |

（上表によるほか、建具製作所の仕様による性能など資料を提出し、監督員の承諾を受ける。）
・図示

### 7 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.5.2)
・適用する（適用箇所は建具表による）

### 8 ｽﾃﾝﾚｽ製建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.4.2)(表16.4.3)
・適用する（適用箇所は建具表による）
外部に面する建具の耐風圧性　(16.6.2)(表16.2.1)
・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　(16.6.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ　(16.6.5)

### ⑨ 木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　）　(16.7.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度　・鳥の子　(表16.7.3)
ふすまの縁の仕上げ　・塗り縁　・生地縁　(表16.7.10)

### ⑩ 建具用金物

マスターキー　※製作する（　２　本）　・製作しない　(16.8.4)
鍵札数量　・錠前１組に２枚とする　・錠前１組に　枚とする
かぎ箱　市販品　形式　・３０組用　・６０組用　・１２０組用　(16.9.2)(16.9.3)(表16.9.1～4)

### ⑪ 自動ﾄﾞｱ開閉装置

| 引き戸用駆動装置の種類 | 引き戸用検出装置の種類 | | 防　錆 |
|---|---|---|---|
| ・SSLD-1 | ⊙光線（反射）ｾﾝｻｰ | ・電波ｾﾝｻｰ | ・適用する |
| ・SSLD-2 | ・熱線ｾﾝｻｰ | ・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ | ⊙適用しない |
| ・DSLD-1 | ・音波ｾﾝｻｰ | ・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ | |
| ⊙DSLD-2 | ・光電ｾﾝｻｰ | ・多機能ﾄｲﾚｽｲｯﾁ | |

凍結防止措置　※　行わない　・　行う（　　）　(16.9.3)
※適用する（適用建具及び適用位置は図示による）　(16.10.1)

### 12 自閉式上吊り引戸装置

### ⑬ 重量シャッター

シャッターの種類　(16.11.2)
・管理用シャッター　⊙外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター　⊙防炎シャッター
管理用シャッター及び外壁防火シャッターの耐風圧強度（　　）N/㎡　(16.11.2)
開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.11.2)(表16.11.1)
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　(16.11.2)
開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　(16.12.2)
外部に面するシャッターの耐風圧強度（　　）N/㎡　(16.12.2)
スラット　(16.12.3)(16.12.4)(表16.12.2)

| 材　質 | めっき付着量 | 厚さ(㎜) | 形　状 |
|---|---|---|---|
| ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 | ※Z06又はF06 ・ | ・0.5 ・0.6 | ※ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形 |
| ⊙塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 | ※AZ90 ・ | ⊙0.8 ・1.0 | |

ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等　※鋼板製　⊙ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304(厚さ1.5mm)　(表16.12.2)
ｼｬｯﾀｰｹｰｽ　厚さ（㎜）　・0.4　⊙0.8　・　(表16.12.2)

### 15 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

(16.13.2)(16.13.3)

| セクション材料 | 開閉方式 | 収納形式 | ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ |
|---|---|---|---|
| ※スチールタイプ<br>・アルミニウムタイプ<br>・ファイバーグラスタイプ | ※ﾊﾞﾗﾝｽ式<br>・ﾁｪｰﾝ式<br>・電動式 | ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形<br>・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形<br>・ﾊｲﾘﾌﾄ形<br>・ﾊﾟｰﾁｶﾙ形 | ※溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板<br>・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304) |

耐風圧性能による区分　・５０　・７５　・１００　・１２５　(16.13.2)

### ⑯ ガラス

下記以外は、建具表による　(16.14.2)
・合わせガラス
特性による種類　・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
⊙強化ガラス

| 材料板ｶﾞﾗｽによる種類 | 特性による種類 |
|---|---|
| ⊙ﾌﾛｰﾄ強化ｶﾞﾗｽ | ・Ⅰ類 |
| ・型板ｶﾞﾗｽ | ・Ⅲ類（曲面はⅠ類） |

⊙複層ガラス

| 種　類 | 断熱性、日射遮へい性による区分 |
|---|---|
| ・断熱複層ｶﾞﾗｽ | ・Ｔ１　・Ｔ２　・Ｔ３　・Ｔ４　・Ｔ５　・Ｔ６ |
| ・日射熱遮へい複層ｶﾞﾗｽ | ・Ｇ　・Ｓ |

・熱線吸収板ガラス

| 材料板ｶﾞﾗｽによる種類 | 特性による種類 | 色　調 |
|---|---|---|
| ・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ | ・１種 | ・ﾌﾞﾙｰ　・ｸﾞﾚｰ |
| ・熱線吸収網入り磨き板ｶﾞﾗｽ | ・２種 | ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ｸﾞﾘｰﾝ |

・熱線反射ガラス

| 種　類 | 材料板ｶﾞﾗｽの種類 | 日射遮へい性 | 耐久性 |
|---|---|---|---|
| ※熱線反射ｶﾞﾗｽ<br>・高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ | ・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ<br>・熱線吸収板ｶﾞﾗｽ<br>・強化ｶﾞﾗｽ<br>・倍強度ｶﾞﾗｽ | ・１種<br>・２種<br>・３種 | ・Ａ類<br>・Ｂ類 |

・倍強度ガラス

| 材料板ｶﾞﾗｽによる種類の名称 | 色　調 |
|---|---|
| ※ﾌﾛｰﾄ倍強度ｶﾞﾗｽ | |
| ・熱線吸収倍強度ｶﾞﾗｽ | ・ｸﾞﾚｰ　・ﾌﾞﾙｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ |

### ⑰ ガラス留め材

ガラス留め材　(16.14.2)(表9.7.1)

| 建具の種類 | 材　種 |
|---|---|
| アルミニウム製 | ⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ材　※ｶﾞｽｹｯﾄ（FIX部はｼｰﾘﾝｸﾞ材） |
| 鋼製及び軽量鋼製 | ※ｼｰﾘﾝｸﾞ材 |
| ステンレス製 | ※ｼｰﾘﾝｸﾞ材 |

### 18 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み

(16.14.5)

| 寸 法(㎜) | | 表 面 形 状 | | 性 能 等 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 呼び寸法 | 厚さ | 色　調 | パターン | 防火性能 | 耐火性能 |
| | | ※クリア<br>・ | | ※無し<br>・ | ※無し<br>・ |

壁用金属枠及び補強材

| 壁用金属枠の種類 | 規格及び補強材等 |
|---|---|
| ※アルミニウム製 | ・標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による |
| ・ | ・ |

化粧目地モルタルの色　※モルタル色　・
シーリング材料
下記以外は標仕表9.7.1による　(16.14.5)(9.7.2)(表9.7.1)

| 被着体の組合せ | シーリング材の種別 | | |
|---|---|---|---|
| | 記号 | 主成分による区分 | 耐久性による区分 |
| | | | |

### 19 ガラス用フィルム

| 名　称 | 種　類 | 張り面 | 性能値 |
|---|---|---|---|
| ※ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ | 第２種 | ※内張り　・外張り | 飛散防止率　95%以上 |
| ・ | | | |

品質　JIS A 5759による

## 塗装工事

### ⑱ ① 素地ごしらえ

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面の継ぎ目処理工法の場合　(18.2.7)(表18.2.7)
種別　※Ａ種　・Ｂ種（施工箇所：　　）

### ② 錆止め塗料塗り

２回目の錆止め塗料塗り　(18.3.3)
・鉄骨等の製作工場　・工事現場

### ③ 耐候性塗料塗り

鉄工面耐候性塗料塗りの上塗り塗料　(18.7.2)
・１級　・２級　・３級
亜鉛メッキ鋼面耐候性塗料塗りの上塗り塗料　(18.7.3)
・１級　・２級　・３級
ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面耐候性塗料塗りの種別　(18.7.4)
・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

### ④ 塗装業者

※日本塗装工業会の会員　⊙監督員の承諾する業者

## 内装工事

### ⑲ ① ビニル床シート

(19.2.2)

| 種　類 | JISの記号 | 色　柄 | 厚さ(㎜) |
|---|---|---|---|
| ※発泡層のないもの | ※ＦＳ・ＴＳ | ※無地　・ﾏｰﾌﾞﾙ柄 | ※2.0 |
| ・発泡層のあるもの | ・ＨＳ・ＫＳ | ※柄物　・無地 | |
| ・ | | | |

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所　　）　(19.2.3)(19.2.2)

### ② ビニル床タイル

| 種　類 | JISの記号 | 厚さ(㎜) | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ※ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | ＫＴ | ※2.0 | |
| ・単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | ＴＴ | ・ | |
| ・複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | ＦＴ | ・ | |
| ・置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | ＦＯＡ | ・ | |
| ・薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | ＦＯＢ | ・ | |

### ③ 誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用床ﾀｲﾙ　(19.2.2)

| 適用箇所 | 種　類 | 寸　法（㎜） | 形　状 |
|---|---|---|---|
| 屋　内 | ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系 | ※300×300　・ | ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝ |
| | ⊙ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系 | ※300×300　・ | JIS Ｔ 9251 |
| | ・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ | ・ | による |
| 屋　外 | ⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ系 | ※300×300×60　・300×300×30 | 色彩は黄色を |
| | ・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ | ・ | 原則とする |

### ④ ビニル幅木

厚さ（㎜）　※1.5　・　・　(19.2.2)
高さ（㎜）　※60　・75　・100

### ⑤ 帯電防止床ﾀｲﾙ

(19.2.2)

| 種　類 | 厚さ(㎜) | 性　能 |
|---|---|---|
| ・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | ※2.0　・ | 体積抵抗値（JIS K 6911による） |
| ・ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | ※4.0又は4.5 | $1.0\times10^{9}$Ω以下、又は、 |
| ・ | ・ | 漏洩抵抗値（JIS A 1454による） |
| ・ | ・ | $1.0\times10^{10}$Ω未満 |

### ⑥ カーペット敷き

・織じゅうたん　(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.1)

| 種 別 | 織 り 方 | ﾊﾟｲﾙ形状 | 帯 電 性 | 色・柄等 |
|---|---|---|---|---|
| ・Ａ種 | ・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ | ・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ | 人体帯電圧 | ※単一色（無地） |
| ・Ｂ種 | ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ | ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ | ※3kV以下 | ・柄物（標準品） |
| ・Ｃ種 | ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ | ・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用 | ・ | |

・タフテッドカーペット　(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)

| ﾊﾟｲﾙ形状 | ﾊﾟｲﾙ長(㎜) | 工　法 | 帯 電 性 |
|---|---|---|---|
| ・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ | ※5.0～7.0　・ | ※全面接着工法 | 人体帯電圧 |
| ・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ | ※4.0～6.0　・ | ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法 | ※3kV以下 |
| ・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ | ※4.0 | | ・ |
| ・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用 | ・ | | |

・タイルカーペット　(19.3.3)

| 種 別 | ﾊﾟｲﾙ形状 | 電気抵抗値(Ω) | 寸　法 | 層　厚 | 施 工 箇 所 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※第一種 | ※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ | ※適用しない | ※500角 | ※6.5㎜ | ・ |
| ・ | ・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ | ・$10^{3}$Ω以下 | ・ | ・ | ・ |

### 7 合成樹脂塗り床

(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.4～表19.4.8)

| 種　別 | 仕 上 げ の 種 類 |
|---|---|
| ・弾性ウレタン塗り床材 | ※平滑仕上　・防滑仕上　・つや消し仕上げ |
| ・エポキシ樹脂塗り床材 | ※薄膜流し展べ工法（※平滑　・防滑） |
| | ・厚膜流し展べ工法（※平滑　・防滑） |
| | ・樹脂モルタル工法（※平滑　・防滑） |
| | ・薄膜型塗床工法 |

### ⑲ 8 床用塗料塗り

材　質　ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗料　（※標準色　・　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗のうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5Kg/㎡以上とする。

### 9 防塵用塗料塗り

材　質　水性ｱｸﾘﾙ系塗料　（※標準色　・　）
仕上種別　ｺｰﾃｨﾝｸﾞ（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回りとし、総塗布量は0.25Kg/㎡以上とする。

### ⑩ フローリング張り

(19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

| 品　名 | 樹　種 | 種　別 | 工　法 | 現場塗装仕上げ |
|---|---|---|---|---|
| ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等 | ※なら・ | | ・根太張り工法<br>・直張り工法<br>⊙接着工法<br>・ | ・行う<br>・行わない |
| ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等 | ※なら・ | | | ・行う<br>・行わない |
| ⊙天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ | ※なら<br>⊙かば | ・Ａ種<br>・Ｂ種<br>※Ｃ種 | | ・行う<br>⊙行わない |

### ⑪ 畳敷き

畳の種別　(19.6.2)(表19.6.1)
・Ａ種　・Ｂ種　⊙Ｃ種　・Ｄ種（・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　※KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）

### ⑫ せっこうﾎﾞｰﾄﾞその他のﾎﾞｰﾄﾞ張り

(19.7.2)(表19.7.1)

| 種　類 | JISの記号 | 厚さ(㎜)・規格等 |
|---|---|---|
| ・硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板 | ＨＷ | ・15　・20　・25 |
| ・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板 | ＮＷ | ・15　・20　・25 |
| ⊙けい酸ｶﾙｼｳﾑ板 | ０．８ＦＫ | ⊙6.0　ﾀｲﾌﾟ2(無石綿) |
| ⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 | ＤＲ | ※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ(※9.0　・12.0　・　)<br>・凹凸ﾀｲﾌﾟ(※12.0　・15.0)　((個)不燃) |
| ⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ | ＧＢ－Ｒ | ⊙9.5（準不燃）　⊙12.5（不燃） |
| ⊙不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ | ＧＢ－ＮＣ | ○9.5(不燃)　・化粧無（下地張り用）<br>・化粧有（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様） |
| ・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ | ＧＢ－Ｓ | ・9.5（準不燃）　・12.5（準不燃） |
| ⊙強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ | ＧＢ－Ｆ | ⊙12.5（不燃）　・15.0（不燃） |
| ・ | | |

軽量鉄骨下地ﾎﾞｰﾄﾞ遮音壁の遮音ｼｰﾙ材　(19.7.2)(表9.7.1)
※適用する（・アクリル系　・ポリウレタン系　・ジョイントコンパウンド）
・適用しない
⊙せっこうボードの目地処理　(19.7.2)(表19.7.5)

| 目地処理の処理 | せっこうﾎﾞｰﾄﾞのｴｯｼﾞの種類 | 施　工　箇　所 |
|---|---|---|
| ⊙継目処理工法 | ・ﾃｰﾊﾟｰｴｯｼﾞ　⊙ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ | |
| ・突付け工法 | ・ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ　・ｽｸｴｱｴｯｼﾞ | |
| ・目透し工法 | | |

### 13 吸音材

(表19.7.1)

| 種　類 | 記　号 | 厚さ(㎜) |
|---|---|---|
| ・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音材料 | ＲＷ－Ｂ | ※25　・ |
| ※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音材料 | ＧＷ－Ｂ | ※25　・ |
| ・ | | ・ |

### ⑭ 壁紙張り

(19.8.2)

| 施工箇所 | 壁 紙 の 種 類 | | | | | 防火性能の級別 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 紙製 | 織物 | ﾋﾞﾆﾙ | 化学繊維 | 無機質 | | |
| 図示 | ・ | ・ | ⊙ | ・ | ・ | ※不燃・準不燃・難燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ※不燃・準不燃・難燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ※不燃・準不燃・難燃 | |

素地ごしらえ　(19.8.3)(表18.2.4)(表18.2.5)(表18.2.7)
ﾓﾙﾀﾙ､ｺﾝｸﾘｰﾄ面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

### ⑮ 断熱材打込み工法

断熱材　(6.8.2)(19.9.2)

| 断 熱 材 の 種 類 | | | 厚さ(㎜) |
|---|---|---|---|
| ・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板 | ・１号　・２号　・３号　・４号 | | ・<br>・ |
| ⊙押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板 | ・１種ｂ | ・Ａ　・Ｂ　・Ｃ | ・ |
| | ・２種ｂ | ・Ａ　・Ｂ　・Ｃ | ・ |
| | ・３種ａ | ・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ | ・ |
| | ⊙３種ｂ | ⊙Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ | ・ |
| | スキン層　・あり　・なし | | |
| ・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材 | ・１種 | ・１号　・２号　・３号 | ・ |
| | ・２種 | ・１号　・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ | ・ |
| | | ・２号　・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ　・Ｆ | ・ |
| | | ・３号 | |
| | | ・４号 | |
| | ・３種 | ・１号　・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ | |
| | | ・２号　・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ | |
| ・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 | ・１種 | ・１号　・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ | ・ |
| | | ・２号　・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ | ・ |
| | | ・３号　・Ａ　・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ | ・ |
| | ・２種 | ・１号Ａ　・２号Ａ　・３号Ａ | |
| | ・３種 | ・１号Ａ | |
| ・断熱材兼用型枠 | 建設技術評価規定（昭和53年　建設省告示第976号）に基づき建設大臣が評価した工法 | | ・ |

### ⑯ 断熱材現場発泡工法

断熱材の種類　⊙Ａ種１　・Ａ種１Ｈ　(19.9.3)
断熱材の吹付け厚さ　・　㎜　※図示

## ユニット及びその他工事

### 20 1 基本要求品質

(20.1.2)
特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はＦ☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、Ｆ☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

### 2 耐震スリット

| 方　向 | 表 面 仕 上 げ | 耐火性能 | 防水性能 |
|---|---|---|---|
| ・垂直方向 | ※完全（全貫通型）ｽﾘｯﾄ | ・耐火型 | ・有り |
| ・水平方向 | | | ・無し |

| | 目　地　材 | 目地寸法(㎜) |
|---|---|---|
| 内壁（幅×深さ） | ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かりのみ） | ※20×10 |
| 外壁（幅×深さ） | ｼｰﾘﾝｸﾞ材（内外とも） | ※20×10 |

### 3 ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ

(20.2.2)

| 施工箇所 | 構　法 | 仕上り高(㎜) | 適用地震時水平力 | 耐荷重性能 注(1) | 表面仕上げ材 注(2) |
|---|---|---|---|---|---|
| | ・ﾊﾟﾈﾙ構法<br>・溝構法 | ・<br>※50未満 | ・1.0G<br>・0.6G | ・3,000N<br>・5,000N | ・帯電防止床ﾀｲﾙ<br>・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ |
| | ・ﾊﾟﾈﾙ構法<br>・溝構法 | ・<br>※50未満 | ・1.0G<br>・0.6G | ・3,000N<br>・5,000N | ・帯電防止床ﾀｲﾙ<br>・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ |

注(1)：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注(2)：表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。
ｽﾛｰﾌﾟ及びﾎﾟｰﾀﾞｰ
※製造所の標準仕様（ただし、構成材は標仕20.2.2(2)(ｲ)による）　・図示
ｺﾝｾﾝﾄ等の取付け対応
仕様　※製造所の標準仕様（ｺﾝｾﾝﾄ本体は別途設備工事）
ｺﾝｾﾝﾄの箇所数　※10～15㎡に1箇所程度
配線用取出しﾊﾟﾈﾙ
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合　※20～30%
配線取り出し開口　※40㎜×80㎜程度の開口
空調用吹き出しﾊﾟﾈﾙ
※無し　・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

### 4 可動間仕切

(20.2.3)

| 構造形式 | ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(㎜) | 表面材種 厚さ(㎜) | ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ | 遮 音 性（JISによる記号） |
|---|---|---|---|---|
| ※ﾊﾟﾈﾙ式<br>・ｽﾀｯﾄﾞ式<br>・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式 | ・ | ※鋼板<br>（※0.6　・0.8）<br>・ | ・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付け<br>・ｱｸﾘﾙ樹脂焼付け<br>・ | ・有り |

不燃材料の認定　・有り

### 5 移動間仕切

(20.2.4)

| 遮音性能区分 | 厚さ(㎜) | 表面材 | 表面仕上げ | 操作方法 |
|---|---|---|---|---|
| ・一般ﾀｲﾌﾟ | ・ | ※鋼板 | ・焼付け塗装 | ・手動式　・電動式　・部分電動式 |
| ・遮音ﾀｲﾌﾟ(注1) | ・ | ※鋼板 | ・焼付け塗装 | ・手動式　・電動式　・部分電動式 |

注：表面仕上げの壁紙張りの品質は１９章内装工事　１５壁紙張りによる。
遮音性能　※36dB/500Hz以上　・36dB/500Hz未満
パネル圧接装置操作方法　※製造所標準仕様　・

### ⑥ トイレブース

表面仕上げ材　⊙ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板（標準色　ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き）　(20.2.5)
・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板（標準色　ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き）
脚部(ｽﾃﾝﾚｽ製)　※幅木ﾀｲﾌﾟ　・支柱ﾀｲﾌﾟ
ﾄﾞｱｴｯｼﾞ　※曲面形　・ﾌﾗｯﾄ形　・製造所の仕様

### ⑦ 手すり及びタラップ

(20.2.6)(20.2.12)(表14.2.2)

| 種　類 | 材料の種別 | 表　面　処　理 |
|---|---|---|
| ⊙手すり | ※ｽﾃﾝﾚｽsus304 | ※ＨＬ程度　・鏡面程度　・ |
| | ・鉄 | 亜鉛めっき　外部　※Ｃ種　・<br>内部　※Ｅ種　・ |
| ⊙ﾗﾗｯﾌﾟ | ※ｽﾃﾝﾚｽsus304 | ※研磨なし　・ |
| | ・鉄 | 亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種　・ |

### ⑧ 階段滑止め

材　種　※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ　・黄銅　(20.2.7)
形　状　※ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入り　・ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔなし
両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ　※有り（ｽﾃﾝﾚｽ製　※ﾋﾞﾆﾙ製）　・　無し
幅(㎜)　・30　⊙35　・40　・
取付け方法　※接着工法　・　埋込み工法

### ⑨ 階段手すり

| 種　別 | 施 工 箇 所 |
|---|---|
| ※集成材ｸﾘｱﾗｯｶｰ仕上げ（市販品）<br>径　・38㎜　・45㎜　・60㎜ | |
| ⊙ビニル製手すり（幅 約40㎜） | ※図示 |

### 10 黒板及びホワイトボード

(20.2.9)

| 種　類 | 区　分 | 種　類 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ・黒板 | ※焼付け<br>・ | ※鋼製<br>・ほうろう | ※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分 |
| ・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ | ・ | ・ | ※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分 |

### 11 ブラインド

(20.2.14)

| 形　式 | 種　類 | ｽﾗｯﾄの材質 | ｽﾗｯﾄの幅(㎜) |
|---|---|---|---|
| ※横形 | ※ｷﾞｱ式<br>・ｺｰﾄﾞ式<br>・操作棒式 | ※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製<br>・樹脂製<br>・木製 | ※25<br>・35<br>・100 |
| ・縦形 | ・1本操作ｺｰﾄﾞ<br>※2本操作ｺｰﾄﾞ | ・焼付け塗装仕上げのｱﾙﾐｽﾗｯﾄ<br>・特殊防炎加工のｸﾛｽｽﾗｯﾄ | ・80<br>・100 |

### 12 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

※市販品（ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　押出し型材）

| 使 用 区 分 | 溝幅×深さ（㎜） |
|---|---|
| ・横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ | ※90×150　・120×150　・ |
| ・縦形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ | ※120×80　・150×80　・ |
| ・ｶｰﾃﾝ（又はﾚｰｽ共） | ※150×80　・180×80　・ |
| ・ｶｰﾃﾝ＋横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ | ※180×150　・ |

色彩　・Ｂ－１　・Ｂ－２（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
・図示

### 13 ロールスクリーン

(20.2.15)

| 操 作 方 法 | 幅及び高さ | 材　種 | 品　質　等 |
|---|---|---|---|
| ・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式 | ・ | ・ｶﾞﾗｽ繊維製 | |
| ・ｺｰﾄﾞ式（ﾁｪｰﾝ式） | ・ | ・合成・天然繊維製 | |
| ・電動式 | ・ | ・木製 | |

巻取りﾊﾞｲﾌﾟ、ウェイトﾊﾞｰ、操作ｺｰﾄﾞ、操作ﾁｪｰﾝの材料
※製造所の仕様　・

### ⑭ カーテン及びカーテンレール

カーテン　(20.2.16)

| 取付箇所 | 形　式 | 開閉操作方　式 | ひだの種類 | きれ地の種別、品質、特殊加工品 |
|---|---|---|---|---|
| ⊙図示 | ・ｼﾝｸﾞﾙ・片引き | ・手引き | ・つまみひだ | ・ |
| ・ | ⊙ﾀﾞﾌﾞﾙ・引分け | ・ひも引き | ・箱ひだ、片ひだ | ・ |
| | | ・電動 | ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ | |

暗幕用ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

〒948-0041　新潟県十日町市高山847-10
ＴＥＬ　(025)-757-8265
ＦＡＸ　(025)-757-4277
E-mail　tukadaat@ceres.ocn.ne.jp
（株）塚田設計事務所
１級建築士事務所登録第　ｳ-540　号
代表となる設計者
１級建築士登録168623号　槌　澤　忍

PROJECT TITLE　養護老人ホーム妻有荘 改築工事
DRAWING TITLE　仕様書 ③
DATE　2024. 09
SCALE　—
DRAWING NO　A - 03